

市民が実践するオーラル・ヒストリー：
この街の多様な人々の経験を未来に伝えるために
【会員募集中！ 誰でも参加できます】

講演会のお知らせ

講師：江刺昭子氏

江刺昭子さんは、1980年代に編纂された神奈川県的女性史「夜明けの航跡」(1987年)や「共生への航路」(1992年)の編纂に専門委員として指導されたのを始めとして、千代田区、中央区、厚木市、平塚市、などで女性史編纂の指導をしてこられました。大和市における私たちのオーラル・ヒストリー実践にも立ち上げ当初から応援してくださっています。



今回は、40年以上も地域女性史を指導し、男性も含む郷土史にもかかわった江刺先生に、市民が主体となって街の歴史を記録する意義についてお話しいただきます。聞き書きによる歴史実践の具体的方法を教えていただき、私たちの聞き書きの成果を地域社会に還元していきたいと思えます。

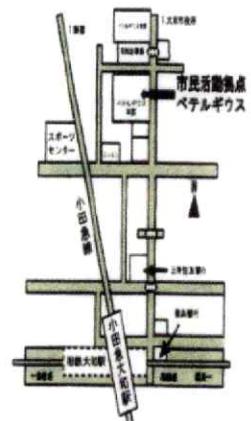
日時：2026年4月12日(日)14時～16時 (参加費無料)

場所：大和市民活動センター・会議室2 (大和市深見西1-2-17)

主催：歴史工房やまと

お問い合わせは：rekishikoboyamato@gmail.com; 080-4201-7568

江刺昭子氏紹介：主要著作：『草履 評伝大田洋子』1971年、『覚よ女たち 赤瀬会の人びと』1980年、『女のくせに 草分けの女性新聞記者たち』1985年、『逗子は燃えた、そして、池子住民訴訟ノート』1990年、『女の一生を書く評伝の方法と視点』1994年、『透谷の妻 石阪美那子の生涯』1995年、『中央区女性史、いくつもの橋を渡って 通史』2007年、『樺美智子 聖少女伝説』2010年、『私だったかもしれない ある赤軍派女性兵士の25年』2022年、『歴史をひらいた女たち 人物で読むジェンダー史』2025年、『共生社会をめざして 人物で読むジェンダー史』2025年、『時代を拓いた女たち』1～3編著、『史の会研究誌』1～7号編著他多数。また昨年岩波文庫で刊行された大田洋子の『屍の街・夕風の街と人と』の解説を執筆。第12回田村俊子賞、第10回横浜文学賞、第59回神奈川文化賞受賞



私たちと一緒に、地域の埋もれた声を聞いていきませんか。大和市は南北に細長く、北部、中部、南部とそれぞれに地域的な特色と地域課題があります。地域に生きてきた人々の経験をお聞きしていきませんか。女性たちの歴史、子どもたちの歴史、外国にルーツを持つ方たちの生の声もまだまだ十分には聞かれていません。また大和市には様々な仕事経験をしてこられた方がいらっしゃいます。社会活動で貢献しておられる方もいらっしゃいます。そんな多様な経験を聞いて、記録して、街の歴史として、次世代や後世に伝えていきませんか。

「歴史工房やまと」は、そんな街の多様性に関心があり、埋もれた声を聞いてみたい方たちとつながっていきたくと思っています。誰でも参加できますし、ゆっくりと進めていきます。

連絡先 rekishikoboyamato@gmail.com; 080-4201-7568